

デジタル技術を活用した安全かつ能率的な事務の推進体制の構築

SDGsの
ゴール・
目標



実施項目名	業務プロセスの見直し	所管課	行政管理課
主な課題	限られた人員や予算の中で多様化・複雑化している行政課題に対応するため、業務プロセスの課題の把握・見直し、ICTの有効活用等により業務の効率化やコスト削減等に取り組む必要があります。		
取組内容	全庁的に業務プロセスを調査・分析し、事務手続の簡素化やICTの有効活用等により、業務の効率化を推進します。 業務フロー図を用いて業務の流れを表記する方法であるBPMNを活用し、主体的に業務プロセスを見直すとともに、効果的な改善事例等を全庁的な取組として推進します。		
取組による効果	限られた人員と予算の中で時代や環境の変化に合わせた事務処理体制が整備されます。職員の業務改善意識の向上により、効率的な業務が行われます。事務手続の簡素化等により、県民への行政サービスが向上します。		
県民から見た行政運営の変化(実施項目の目標)	県民ニーズに対応した適切で迅速な行政サービスの提供が行われます。		

■具体的な取組

取組項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	達成目標
1 業務プロセスの見直しの検討・実施	職員提案制度との統合 見直し対象業務の調査	見直し対象業務の調査、検討				業務の効率化やICTを活用した行政サービス充実・強化
	活動指標	調査回数 1回 ヒアリング 1回	調査回数 年1回 検討件数 年10件			
2 BPMNを活用した業務プロセスの見直し	BPMNの活用方法・様式等の検討	BPMN活用の試行(本庁)	本庁で導入			各課等の業務プロセスの把握に基づく業務改善
	活動指標	実施要領の策定	説明会 1回 試行所属数 91	BPMN活用の試行(出先機関)	出先機関で導入	
3 業務改革・改善の意識づけ(研修の実施)	研修内容の見直し	職員研修の実施				職員の意識改革による業務の効率化・行政サービスの向上
	活動指標	—	研修実施 年1回			

■成果指標

成果指標名	基準値 (R3又はR4)	年度ごとの目標値			
		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
1 業務プロセスの見直し件数(累計)	—	5件	10件	15件	20件
2 BPMNの活用による業務改善件数(累計)	—	10件	30件	60件	90件
3 職員の業務改善意識(職員アンケート結果)	72.3% (R3実績)	75%	80%	85%	90%

【参考】これまでの主な取組

第8次行財政改革プラン(沖縄県行政運営プログラム)では、以下の効果があった。

①業務プロセスの見直し件数	H29実績 0件	→	R3実績 累計27件
②業務見える化シートの導入による改善事例	H29実績 0件	→	R3実績 累計159件
③職員の業務改善意識	H29実績 68.7%	→	R3実績 72.3%